

# 知財人財育成に関する取組の経緯

資料4-1

## 知的財産人材育成総合戦略(2006年1月30日)

人材の不足が知的財産立国実現の障害となる懸念

### 〈知的財産の保護・権利化を主軸とした育成〉 《3つの目標》

1. 「知的財産専門人材」の  
倍増・高度化

2. 「知的財産創出・マネジメント  
人材」の育成・高度化

3. 国民の「知財民度」を高める

### 《5つの人材像》

1 国際的に戦える人材

2 先端技術を理解できる  
人材

3 融合人材

4 知的財産競争を  
勝ち抜く経営人材

5 中小企業・地域で  
役立つ人材

### ★10個の重点施策

(1) 知的財産人材育成推  
進のための協議会の創設

(2) 知的財産教育研究へ  
の支援プログラムの充実

(3) 先端技術を理解できる  
人材等の誘引・活用

(4) 実務経験者の活用

(5) キャリアパスの確立に  
よる融合人材の育成

(6) 海外派遣など海外との  
交流の促進

(7) 人材のネットワーク化

(8) 学会の活用と支援

(9) 教育・教材ツールの  
開発

(10) 知的財産人材に関す  
る民間資格の充実



## 知財人財育成プラン(2012年1月20日)

グローバル競争が激化する中で、  
求められるイノベーションシステムが変化

### 〈グローバル市場を重視したイノベーション戦略 に基づく知財マネジメントを主眼とした育成〉

### 基本的考え方

1. 知財マネジメント人材の育成

従来の「知財専門人材」の育成にとどまらない、  
事業戦略を巧みに適切かつ先行的・実践的に  
知財を活用できる人材の育成

2. グローバル知財人財の育成

従来の国内人材の国際化による「国際知財人  
材」の育成に加え、グローバルに確保されて世  
界を舞台に活躍できる人材の育成・確保

3. 知財人財の裾野の拡充

知財マネジメント人材の育成・確保を主眼とした「知財人財育成プラン」と  
知財専門人材の育成・確保を主眼とした「知的財産人材育成総合戦略」とを、相互補完的に実施